



6 月 校長講話

～ 新たな出会いとつながり、そして伝統を受け継いで ～

6月の校長講話では、まず新たに南小に転入してきた友達の紹介がありました。全校の子どもたちは、新しい仲間を温かく迎え入れ、笑顔で拍手を送りました。

続いては、6月1日に行われた運動会のふり返りがありました。今年度の運動会は「全力・協力・笑顔」のスローガンのもと、一人ひとりが主役として力を発揮する姿が数多く見られました。特に4～6年生による表現運動では、高い集中力と団結力が発揮され、まさにスローガンを体現する場面となりました。



講話の中で、3年生が「家族やお客さんに笑顔になってほしかった」と語ってくれたように、子どもたちが誰かのためにがんばる気持ちを自然に持てるようになってきていることに、大きな成長を感じます。

学校長からは、「人は、自分を認めてくれる人、励ましてくれる仲間や見守ってくれる存在があるときに、より力を発揮できる」という話がありました。南小の子どもたちは、まさにそのような関係の中で日々を過ごしており、「互いに励まし合う学校像」が少しずつ形になってきていることを再確認する機会となりました。

また、6月1日は南小の開校記念日でもあり、今年度で創立 125 周年を迎えました。3つの学校が統合して誕生した南小には、地域の皆様の願いや長い歴史が込められています。校章には地域の5区を象徴する模様や、佐野遺跡からの出土品をモチーフとした文様が使われています。また校歌の3番には、「目標をもつこと」「素直な心」「がんばる心」といった、今も変わらぬ大切な思いが歌い込まれています。山桜をシンボルとするこの南小で、子どもたちがそうした思いを受け継いでいることを、あらためて感じる講話となりました。

運動会にあたっては、PTA 役員の皆様をはじめ、保護者の皆様に校庭整備や運営面で多大なご協力をいただきました。子どもたちの笑顔の背景には、こうした多くの支えがあることを忘れず、これからも学校全体で力を合わせて子どもたちを育ててまいります。

1 学期も後半になります。これからも南小らしい温かい日々を、子どもたちとともに職員一同で築いてまいります。引き続き、温かなご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

6月授業参観

先日の授業参観日には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。どの学年の教室からも、子どもたちが意欲的に学ぶ姿が見られました。

1年生では、先生の見本作品に歓声が上がり、創作意欲がぐんと高まる様子が印象的でした。

2年生は、自分でつくったオリジナルの旋律を発表し合い、音に思いをのせて伝えようとする姿が見られました。

3年生では、数直線の1目盛りが1000であることを手がかりに、自分の考えを筋道立てて説明する様子がありました。

4年生は、生活習慣病について学ぶ中で、日ごろのおやつ選び方を見直し、健康について考える機会となりました。

5年生は、自分のペースで学び、食料生産に関する調べ学習を主体的に進めていました。

6年生は、修学旅行の行き先について調べたことをもとに、互いに発表を行い、学びを深めていました。



日々の学びの積み重ねが、こうした一場面一場面表れていることをうれしく思います。ご参観いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

チーム南小の力が発揮された運動会

～ 支え合いの力がつくり出した一日 ～

雨天により開催が危ぶまれた今年度の運動会でしたが、1日順延の末、無事に全プログラムを実施することができました。天候の不安が残る中でも予定通り開催できたのは、「チーム南小」としての総合力が発揮されたからこそだと強く感じています。

当日は、PTA 役員の皆様はじめ保護者の皆様の力強いご支援が大きな支えとなりました。朝早くからの校庭整備をはじめ、競技の合間や片付けの際にも、保護者の皆様が自主的に動いてくださる姿が随所に見られ、運営の安定に大きく貢献していただきました。特に、校庭整備のために砂場にできた大きな穴は、PTA と教職員とが協力して砂を入れ、子どもたちが安全に活動できる環境を整えたことによるもので、まさに連携の力を象徴していたように思います。



子どもたちが生き生きと躍動するその背景には、保護者の皆様の温かいご協力があります。この日が「成功」だったといえるのは、すべての関係者が思いを一つにして運動会に向き合った結果だと改めて感じます。

日々学校生活に前向きに取り組む子どもたちの姿があるのも、こうした保護者の皆様の厚いご支援があってこそです。これからも、保護者の皆様と共に「チーム南小」として、子どもたち一人ひとりの輝きを支えてまいりたいと強く感じた運動会となりました。

国際交流を通して育まれた、つながりと学び

～ 異文化とのふれあいが心を育てる時間 ～

12日（木）、本校にて国際交流活動が行われ、アメリカからの留学生4名をお迎えしました。学校長による歓迎のあいさつの後、留学生たちは1・2・3・6年生の教室を訪問し、子どもたちと一緒に給食を食べたり、清掃活動に参加したりしながら、日常の学校生活をともに過ごしました。言葉や文化の違いを越えて、笑顔で関わり合う子どもたちの姿からは、お互いを尊重しようとする気持ちがしっかりと育っていることが伝わってきました。



体育館での全体交流では、5年生がリードしながらゲームを進行しました。活動を通して、自然と心の距離が縮まり、子どもたちは異なる文化背景を持つ人との関わりを楽しみながら、「一緒に過ごすことのよさ」を体験的に学んでいました。留学生のローレンさんは、日本の「ハンカチ落とし」に似たアメリカの遊び“ダッグダッググース”を紹介してくれ、「交流がとても楽しかった」と笑顔で話してくれました。



4年生との交流では、日本の伝統的な食文化をテーマに「豆腐づくり」に取り組みました。「日本の食を体験したい」という留学生の思いに応え、地元の北澤豆腐店さんを講師に迎え、大豆を使った活動が実現しました。子どもたちは、工程を楽しみながら、ていねいに作り方を教えたり、手助けしたりと、心を込めた“おもてなし”の姿勢を見せていました。ローガンさんは「みんなといっしょに豆腐を作ることはとても楽しかった」と日本語で感想を伝えてくれました。北澤豆腐店さんからも「子どもたちも留学生も、とても楽しそうでした」とのお言葉をいただきました。

このような国際交流は、世界の多様な価値観にふれ、自分とは異なる他者を理解しようとする態度を育むうえで、非常に意義ある学びです。子どもたちにとって、心に残る生きた学びの時間となりました。

今回の取り組みは、本校が目指す子ども像「他者とつながる子ども」の育成にもつながる、大変有意義な国際交流となりました。

お知らせとお願い

○地域の方から学ぶ「かがやきタイム」は7月11日（金）です。今回は学年を1～3年、4～6年に分け、希望の講座を選んでの実施となります。題材との出会い、講師の先生との交流を通して、地域のよさを感じる機会にしたいです。

1～3年	講師	4～6年	講師
果物でジャム作り	金子真一朗さん	山ノ内のお祭り	平原 剛さん
山の恵みでクラフト工作	志賀高原観光協会	君もそば打ち名人	小林秀貴さん
大豆が大変身	佐藤重子さん 浅沼しず子さん	竹筒で雪白舞を炊く	阿部正吾さん 中山 修さん
マイ箸作り	宮崎一久さん 平原 進さん	どら焼き作り	羽田吉彦さん

○7月7日（月）に引き渡し訓練があります。自然災害や不審者対応等で、児童の引き渡しの場面があるかもしれません。安全に児童の引き渡しを行う大切な訓練となります。ご理解とご協力をお願いいたします。訓練は、13:45頃オクレンジャー配信、14:40より引き渡しとなります。引き渡し場所は教室です。敷地内駐車は係職員の指示に従ってください。敷地内は最徐行でお願いいたします。

7月の予定

- 1日（火） 5年高原学習（～2日）
- 3日（木） 5年計画休業
- 4日（金） 読み聞かせ（ぐーちょきぱー）
- 5日（土） 地区子ども会②（各地区）
- 6日（日） 志賀高原音楽祭（合唱団出演）
- 7日（月） 引き渡し訓練（5時間授業）…保護者の皆様にお迎えに来ていただきます
- 8日（火） 児童会④
- 9日（水） 児童集会②
- 10日（木） 防犯訓練
学期末事務処理 ※～22日まで5時間授業（ただし、15日はクラブのため6時間授業）
- 11日（金） かがやきタイム（2～4校時）
- 15日（火） クラブ②
- 16日（水） 全校運動③
- 17日（木） スマホ安全教室（3～6年）
- 18日（金） 全校音楽②
- 23日（水） 1学期終業式（5時間授業）
- 24日（木） 夏休み（～8/21）

